



映画の感動 どんな子も

新居浜 病気・障害児らへ上映



病気や障害のある子どもと家族が映画を楽しんだ

病気や障害のある子どもと家族が映画館で作品を満喫する催しが23日、新居浜市前田町のTOHOシネマズ新居浜でつくる「新居浜手を

居浜であり、市内外の約150人が楽しんだ。知的障害や発達障害者の保護者と支援者ら

つながる育成会」が主催。最新作。西条市から家族3人で訪れた青野結翔さん(11)は「面白かったし、感動した」と満

23日は1シアターを貸し切り、上映中も医療的ケアができるよう照明を明るくし、保健師が待機。音に敏感な子どものために音響を小さくした。通路を車いすや医療的ケア児が利用するバギーで観賞

できるスペースに開放するなど、見やすいよう配慮された。上映されたのは、人気アニメ「クレヨンしんちゃん」シリーズの

足げ。父親の健一さん(49)は「久しぶりに家族で映画館に来た。明るさや音量が調整されていたので安心して見られた」と話していた。

育成会の藤田敏彦会長は「病気や障害で静かに座って見るのが難しいからと、映画館に行けない人もいる。どんな子でも楽しめる機会をこれからもつくりたい」と語った。

(小沢涼乃)

「映画の感動どんな子も」

2026 年 8 月 26 日付愛媛新聞（掲載許可番号：d 20260826-03）